

ハンディタイプの果実測定器に新モデル

新商品

千代田電子工業㈱（愛知県）はこのたび、ハンディタイプの果実非破壊測定器「おいし果」の新モデル2機種の販売を開始した。

両機種は、現行モデルの「おいし果CD-H100」

をリニューアルしたもので、3・5インチの自照型タッチパネルディスプレイが搭載され、測定結果の確認がしやすくなった。

また、オプションの無線プリンターを使用することで、測定中の動きを阻害せずに、

測定結果をその場で印刷することができる。

同シリーズは、果物や野菜を切らずに、光を当てただけで、わずか0・5秒で糖度などを測定することができるのが特長だ。

新機種の一つ「おいし果CD-H300」は、糖度専用測定器で、現行モデルよりも価格を抑えた。

もう一方の「おいし果CD-H240」は、農研機構との共同研究成果を用いた糖度・熟度測定器で、糖度と熟度を同時に測定することができる（糖度測定機能はオプション）。

販売価格はオープン価格。測定対象の作物は、今後順次追加される予定だ。



①「おいし果CD-H300と無線プリンター（オプション）」。
測定対象はトマト、桃、梨、柿、リンゴ、イチゴなど幅広い

②「おいし果CD-H240」。
測定対象は現在梨のみだが、今後桃やリンゴなどを追加予定

